

「実技問題」は、日本 FP 協会「資産設計提案業務」では、学科と同じ 6 分野から、金融財政事情研究会（以下「きんざい」と呼びます）「個人資産相談業務」では、リスク管理を除いた 5 分野から出題されています。

<日本 FP 協会>

⇒ 10 題で 40 問（6 分野を混ぜた総合問題が最後に出てくる。問題数は多め。資料の読み取り問題も出るのが特徴。）

<きんざい>

⇒ 5 題で 15 問（1 分野 1 題。1 題に設問 3。5 題×設問 3 = 15 問と出題パターンはシンプル。）

一言でいうと、「日本 FP 協会は広く浅い」「きんざいは狭く深い」出題傾向となります。

「きんざいの方が範囲が狭い」ということは、それだけ「その他の分野から深く出題される」ということです。元々お仕事で金融や保険系に詳しい方には「きんざい」がいいのかもしれませんが、「**はじめて FP について学ぶ方が一発で合格する！**」という、**合格に特化した**考えの方には、講師の見解として、日本 FP 協会での受検をおすすめします。なぜなら、浅い知識で合格点がとりやすいからです。

「実技パターン 48」も「**最小努力での一発合格**」にこだわって、日本 FP 協会の問題をベースに作ってあります。

ただ、「きんざい」受検の方にもお使いいただきたいので、「きんざい」ならではの出題ポイントも入れてあります。ぜひ参考にしてくださいね。